なよろの除雪

平成27年2月1日 発行 第22号

編集 建設水道部都市整備課 電話 01655-3-2511(代表)

FAX 01655-3-3450

e-mail NY-douroiji@city.nayoro.lg.jp

除雪についての情報やお知らせを『なよろの除雪』と題して発行しています。

今月号は「**冬を安全に暮らすために**」です。

今シーズンは降り始めからの大雪で、平成25年の大雪(降雪量837cm)を超えるのではないかという予想もありましたが、1月から穏やかな日が続き、1月1日から26日現在の降雪量86cmと、昨年の同期間の134cm(過去30年間の1月の平均総降雪量208cm)を下回っています。道路の雪も一部融けアスファルトが見えますが、ブラックアイスバーンの箇所がありとても危険です。冬には冬の車の運転があります。運転には細心の注意をお願いいたします。また、暖かく、屋根の雪下ろしにはちょうど良い気候と思いがちですが、暖かい日ほど危なく、たいへん危険な作業です。命綱等の使用をお願いします。



冬の安全運転 1、2、3

1、1割のスピードダウン!

冬道の交通事故の多くはスピードの出し過ぎです。 速度は1割以上落として走りましょう。特にカーブ の手前では十分に減速してください。積雪・凍結な どの路面状況によってはさらに速度を落としてくだ さい。

2、2倍の車間距離!

冬道は滑りやすく、制動距離が長くなります。突然目の前の車がスリップしたり、事故を起こしても慌てることの無いよう、車間距離は夏場の2倍以上とりましょう。

3、3分早めの出発!

冬道は事故による通行止め規制や、悪天候により 雪で前が見えなくなる(ホワイトアウト)ことがあ

ります。時間と心に余裕を持って 早めに出発しましょう。また、急 ハンドル・急ブレーキ・急加速は スリップして事故の原因になりま



す。加速・減速はゆるやかに行いましょう。

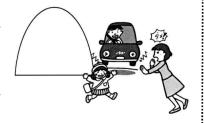


歩行者の冬道ヒヤリ防止心得

- ●雪山の陰では、見通しが悪いので必ず一旦立ち止まり自分の姿を車に見せるようにしましょう。
- ●道路を横断するするときは、車がスリップして止まりきれないこともあるので、止まったことを確かめてから渡りましょう。
- ●吹雪のときは、うつむき加減で通行しがちですが、

ときどき顔を上げて前 方の安全を確認しまし ょう。

●歩道のない道路では 対面通行に心がけましょう。





~名寄市からのお願い!<u>~</u>

●冬道での自転車の運転はとても危険です。全国では雪道で転倒し頭部を強打して死亡する事故が発生しています。自転車はわずかな氷面でもスリップします。自転車の運転



は絶対に止めてください!

- ●吹雪の日は無理せず、外出は控えましょう。
- ●わだちや凸凹ができた道では、急激にハンドルを とられ、横滑りし、反対車

線への飛び出しや雪山に乗り上げたり、横転や路外への転落事故が発生します。また、わだちや凸凹道によりタイヤやバンパーを損傷する場合があります。路面への状況に合わせた無理のな

い運転をお願いします。





屋根の雪下ろしによる事故防止!

名寄市内で屋根の雪下ろし作業中に屋根から転落 して死亡する事故が発生しています。こうした事故 を防止するため、次の点に注意願います。

■暖かい日は屋根が滑りやすく危険で、晴れの日ほど要注意!曇り空で、雪の固い午前中に作業をしましょう。



■雪下ろし作業はヘルメットと命綱

を使用し安全な服装で行いましょう。

- ■雪下ろし作業は万が 一に備えて2人以上 で行いましょう。
- ■はしご等はしっかり固 定しましょう。

